

学生地域定着推進広域連携協議会 令和3年度 活動報告書



登録学生 315 名

全 33 プログラム

活動述べ人数 157 名

目 次

1. 実施結果概要	01
2. 登録大学生の分析	
(1) 登録者の属性	04
(2) 登録人数・参加延べ人数	05
(3) 個人別の参加回数	06
(4) 登録学生の出身地	07
(5) 活動参加評価書	08
3. 実施プログラム概要	
・江別市	09
・芦別市	17
・南幌町	17
・由仁町	18
4. 今年度の成果と来年度への課題と対策	19
参考資料～記述回答一覧	21

1. 活動概要

(1) 活動期間

- ・令和3年4月～令和4年3月

(2) 参加登録者数（令和4年3月31日時点）

- ・315名(内訳別途記載)

(3) 学生の地域定着状況（令和3年度卒業生）

	在学大学	就職先 自治体	就職先	参加した地域活動 プログラム（主なもの）
学生①	酪農学園大学	長沼町	JA 長沼	長井学園法人まつり

(4) 活動内容

令和3年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により各地のイベントを中止せざるを得ない状況となったが、その中でも開催する小規模のイベントやプログラムを企画していき、対面での活動が主となる当事業において、学生の課外活動が制限される中、出来る限りの活動を行った。

プログラム数は以下の通りである。

① 実施プログラム

- ・33件（一覧は別途記載）

② 広報活動

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインでの授業が主となり、学内PRを行う機会が減少したため、今年度は、以下の方法で広報活動をおこなった。

- ・公式ホームページの更新
- ・広報用動画をYouTubeから配信
- ・SNSによるPR（Facebook、Twitter、Instagram）

③企業登録

・地域企業訪問受け入れ企業登録

令和2年度から、連携自治体や商工会議所等を介して、随時企業訪問プログラムに対応でき、新規の人材を必要とする、地域の優良企業等を掘り起し、学生の当該企業への訪問を促すことを目的に、登録企業の募集を実施しているが、今年度新たに11社の企業登録を追加し、学生への周知を行った。また、芦別市では登録企業4社の企業訪問を行った。今後も、連携自治体に協力を仰ぎながら登録企業を募り、登録企業がまとまった段階で一覧にした冊子を作成し、ホームページに掲載、各大学の就職担当課に設置をお願いする。

・登録企業21社（令和3年3月31日時点）（下表記載）

NO.	地域	企業名
1	江別市	株式会社 ナラ工業
2		株式会社 石川組
3		社会福祉法人 長井学園
4		草野作工株式会社
5		農業生産法人 株式会社輝楽里
6		社会福祉法人 北海道友愛福祉会 静苑ホーム
7		社会福祉法人 日本介護事業団
8		社会福祉法人 北海道友愛福祉会 介護老人 保健施設 友愛ナーシングホーム
9	芦別市	有限会社 大橋さくらんぼ園
10		北日本大旺株式会社
11		滝澤ベニヤ株式会社
12		株式会社 芦別スターライトホテル

1 3		株式会社 ソラチ
1 4		芦別市介護老人保健施設（社会福祉法人 芦別市社会福祉事業団）
1 5	赤平市	株式会社 ニッショウ
1 6		社会福祉法人 北海道光生舎
1 7		株式会社 いたがき
1 8		社会福祉法人 赤平友愛会
1 9	長沼町	株式会社 長沼あいす
2 0	栗山町	株式会社 エクセルシャノン
2 1		松原産業株式会社

2. 登録大学生の分析

(1)登録者の属性

①傾向

令和4年3月31日時点の登録者数は、4大学で315名(令和3年度以前の卒業者を除く)となった。所属大学及び性別の内訳は表2.1に示す通りである。登録者数は昨年度と比べて134名減少した。登録者の学年や登録者の推移はそれぞれ表2.2、表2.3に示す通りである。令和3年度の新規登録者数は、前年度より32名多い70名となった。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、新入学生対象のオリエンテーションなどの学内でのPRの機会がなくなったことにより、1,2年生の登録が少なくなっている、学生を募集する機会が激減してはいるが、登録者数は昨年度よりも32名増えている。これは活動数が増えたことにより、ホームページの閲覧、学生同士の口コミにより新規登録が増えた要因となっている。活動プログラム数を多くすることで登録学生が増えていくことがわかる。

表 2.1 登録者数

(人)

	男	女	合計	%
札幌学院大学	54	52	106	33.7%
北海道情報大学	24	13	37	11.7%
北翔大学	13	59	72	22.9%
酪農学園大学	39	61	100	31.7%
総計	130	185	315	100.0%

表 2.2 登録者の学年

(人)

	1年	2年	3年	4年	大学院	不明	合計
札幌学院大学	3	22	29	50	2	0	106
北海道情報大学	13	5	10	9	0	0	37
北翔大学	6	15	15	34	2	0	72
酪農学園大学	3	3	26	67	1	0	100
総計	25	45	80	160	5	0	315

表 2.3 登録者数の推移

(人)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
登録者数	305	466	596	621	449	315
(内新規登録者数)	(241)	(223)	(237)	(214)	(38)	(70)

(2)登録人数・参加延べ人数

①傾向

全 33 プログラムに参加した延べ人数を以下に整理する。

全登録人数に対する参加回数の比率を表 2.4 の「B/A」で表しているが、全登録者平均は 0.50 となっている。特に北海道情報大学の比率が高く、2.03 の数値を示した。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動プログラム数が少ないため、各項目が少ない数値になっている。北海道情報大学に関して、登録学生こそ少ないが、登録した学生のリピート率が高いことを示している。

表 2.4 登録人数及び参加延べ人数

	登録人数 (A)	%	述べ日数 (B)	%	B/A
札幌学院大学	106	33.7	44	28.0	0.42
北海道情報大学	37	11.7	75	47.8	2.03
北翔大学	72	22.9	23	14.6	0.32
酪農学園大学	100	31.7	15	9.6	0.15
総計	315	100.0	157	100.0	0.50

※延べ人数の計算：1 日毎に活動プログラムに参加した学生の合計人数

表 2.5 学年別登録人数及び活動人数

学年	登録人数	%	活動人数	%
1 年	25	7.94	18	28.125
2 年	45	14.29	18	28.125
3 年	80	25.40	17	26.56
4 年以上	165	52.38	11	17.19
不明	0	0.00	0	0.00
総計	315	100	64	100

(3)個人別の参加回数

①傾向

登録者のうち、令和3年度に1回でも活動に参加した人数は64名となった。登録者の約80%の251名は、一度も活動に参加していない結果となった。約20%にあたる64名は、1回以上プログラムに参加しており、その内3回以上活動した参加者は全体の約6%の18名となり、昨年度の0名から回復した。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、課外活動を出来る場が少ないこともあり、新規に登録した学生の25%がリピート参加するなど活発に活動に参加した。

未参加の学生が約8割になっているが、就職活動に入る4年生の比率が高く、昨年1年間ほとんど活動が動いていなかったことから、既存学生の参加が少ない傾向となっている。

図 2.1 参加した学生の参加回数と人数

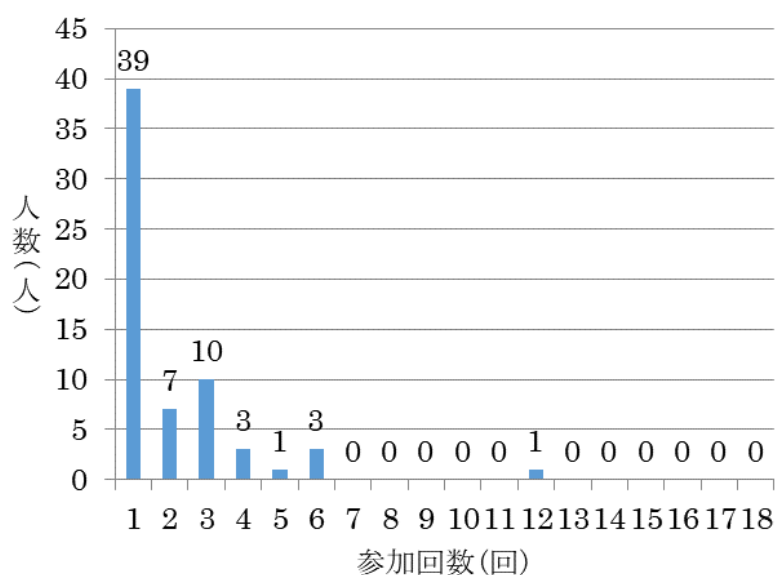


表 2.6 登録者数に占める参加者の割合

	人数(人)	登録者数に占める%	昨年度比
登録人数	315		0.70
未参加	251	79.7	0.62
1回以上参加者数	64	20.3	1.56
2回以上参加者数	25	7.9	25.00
3回以上参加者数	18	5.7	※

※3回以上参加者数の昨年度人数が0人のため算出不可

(4)登録学生の出身地

①傾向

登録者のうち、出身地のわかる学生 220 名について整理した。約 77%は道内出身であり、その内約 25%は札幌市出身となっている。江別市の 4 大学に在学する学生が対象ではあるが、江別市出身の学生は 8%程度となっている。

②考察

昨年度同様、江別市を除けば、当事業の活動対象地域の出身者はごく少数であり、この事業を通して初めて対象地域に関わるケースが多いと思われる。

対象地域に住んでいる登録者は、11%にも満たなく、約 28%の道外出身者にとっては、江別以外で初めて道内の自治体に関わるパターンも多くあり、一度のプログラムの関わりでも地域に強い印象を残せる可能性が高く、また参加した学生は対象地域に始めて訪れる学生も多いことから、地域を知るきっかけとなっている。

表 2.7 登録学生の出身地

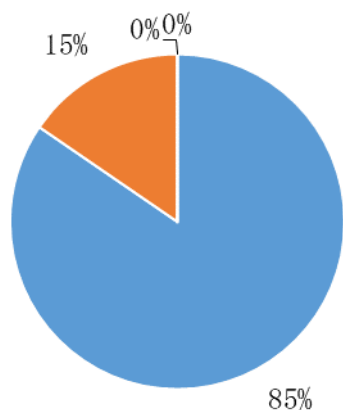
全国別			北海道内		
出身地	人数(人)	%	出身地	人数(人)	%
北海道	170	77.3%	札幌市	43	25.3%
青森県	5	2.3%	江別市	14	8.2%
福島県	5	2.3%	函館市	8	4.7%
埼玉県	4	1.8%	旭川市	6	3.5%
大阪府	4	1.8%	北見市	6	3.5%
岩手県	3	1.4%	南幌町	2	1.2%
宮城県	3	1.4%	長沼町	2	1.2%
長野県	3	1.4%	芦別市	2	1.2%
福岡県	3	1.4%	赤平市	1	0.6%
その他	20	9.1%	三笠市	0	0.0%
合計	220	100.0%	由仁町	0	0.0%
			その他	86	50.6%
			合計	170	100.0%

※未記入数：95 人

(5)活動参加評価書

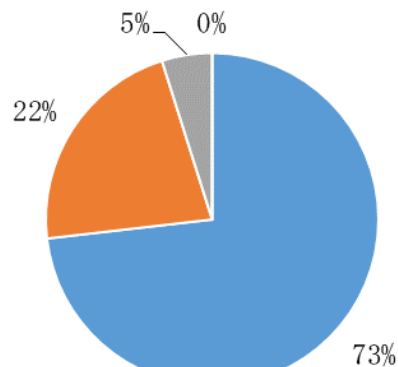
活動後に記入する活動参加評価書の集計結果は、以下の通りとなった。選択式のみの集計は以下に示す(記述式は参考資料に添付)。この結果についての考察は、「4.成果と課題」に記載する。

1. 自分にとって有意義だったか



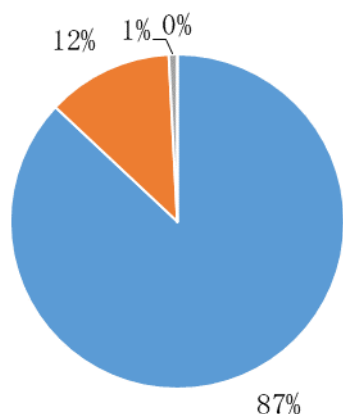
- ① 有意義だった
- ② まあ有意義だった
- ③ あまり意義がなかった
- ④ 意義がなかった

2. 地域を知り、良い出会いを得るきっかけになったか



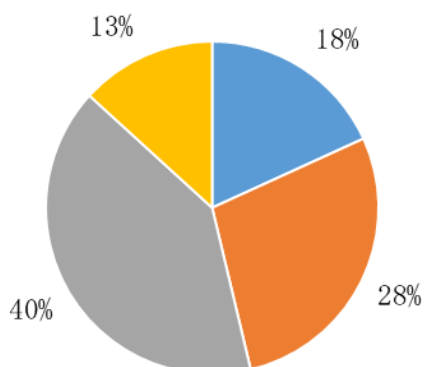
- ① なった
- ② 少しなった
- ③ あまりならなかった
- ④ ならなかった

3. 今後も参加したいか



- ① 参加したい
- ② まあ参加したい
- ③ あまり参加したくない
- ④ 参加したくない

4. 就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか



- ① 変わった
- ② 少し変わった
- ③ あまり変わらない
- ④ 変わらない

3. 実施プログラム

【江別市】

事業名	大麻銀座商店ブックストリート(4月)	
日程	2021/4/24(土)	
のべ人数	8	
概要	大麻銀座商店で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	江別市役所1DAYインターンシップ	
日程	2021/4/26(月)	
のべ人数	2	
概要	江別市役所の理解を深めるため、江別市役所の概要、業務に関する説明、庁内観察をおこなう。	

事業名	大麻銀座商店ブックストリート(7月)	
日程	2021/7/31(土)	
のべ人数	4	
概要	大麻銀座商店で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	多世代交流サロン CoCo カフェ (8月)	
日程	2021/8/10 (火)	
のべ人数	1	
概要	子育て世代とおじいちゃん、おばあちゃんなど3世代が交流する場での活動補助	

事業名	創業支援セミナー2021	
日程	2021/9/4 (土)	
のべ人数	3	
概要	将来、起業を考えている方向けの、入門編となるセミナー、ワークショップ	

事業名	あそびの会 in ココルク	
日程	2021/10/3 (日)	
のべ人数	3	
概要	子ども達を対象にしたあそびの会、たくさんのおもちゃで子どもたちに自由に遊んでもらう場での活動補助	

事業名	多世代交流サロン CoCo カフェ (10月)	
日程	2021/10/12 (火)	
のべ人数	2	
概要	子育て世代とおじいちゃん、おばあちゃんなど3世代が交流する場での活動補助	

事業名	情報図書館 おはなし会	
日程	2021/10/22（金）、2021/10/30（土）	
のべ人数	4	
概要	読み聞かせ会「おはなし会」に参加して、子ども達を前に絵本の読み聞かせをする	

事業名	EBETSUto 江別路線バスツアー	
日程	2021/10/24（日）	
のべ人数	4	
概要	路線バスを使用して江別の飲食店などを巡ってもらい、市内の様々な店舗へ日常的に訪問してもらう	

事業名	NOPPORO イルミネーションプロジェクト	
日程	2021/10/30（土）	
のべ人数	13	
概要	JR 野幌駅南口及び野幌緑地の樹木等を活用したLEDイルミネーションを設置する作業	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート（10月）	
日程	2021/10/30（土）	
のべ人数	3	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	「観光協会パイロット企画」農業・アート体験	
日程	2021/10/30（土）	
のべ人数	4	
概要	えべつ観光協会が主催する市内ツアー・イベントの農業・アート体験のサポート	

事業名	あそびの会 in ココルク（11月）	
日程	2021/11/7（日）	
のべ人数	3	
概要	子ども達を対象にしたあそびの会、たくさんのおもちゃで子どもたちに自由に遊んでもらう場での活動補助	

事業名	多世代交流サロン CoCo カフェ（11月）	
日程	2021/11/9（火）	
のべ人数	3	
概要	子育て世代とおじいちゃん、おばあちゃんなど3世代が交流する場での活動補助	

事業名	Blue D-DAY 2021	
日程	2021/11/21（日）	
のべ人数	1	
概要	ユース世代が自ら企画し、一日かけて11のセッションを行うイベントの補助	

事業名	えべつの魅力発見！地域おこし協力隊と行く市内探索・取材体験	
日程	2021/11/22（月）	
のべ人数	5	
概要	江別市地域おこし協力隊とともに江別内を実地調査し、飲食店や見どころなど、まちの魅力を探索・取材する	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート（11月）	
日程	2021/11/27（土）	
のべ人数	9	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	あそびの会 in ココルク（12月）	
日程	2021/12/5（日）	
のべ人数	4	
概要	子ども達を対象にしたあそびの会、たくさんのおもちゃで子どもたちに自由に遊んでもらう場での活動補助	

事業名	江別市の企業を知るツアー（社会福祉法人編）	
日程	2021/12/10（金）	
のべ人数	2	
概要	江別市内で事業を運営する法人の施設等を見学する 1DAY ツアー	

事業名	多世代交流サロン CoCo カフェ (12 月)	
日程	2021/12/14 (火)	
のべ人数	1	
概要	子育て世代とおじいちゃん、おばあちゃんなど3世代が交流する場での活動補助	

事業名	大塚銀座商店街ブックストリート (12 月)	
日程	2021/12/18 (土)	
のべ人数	6	
概要	大塚銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	あそびの会 in ココルク (1 月)	
日程	2022/1/9 (日)	
のべ人数	1	
概要	子ども達を対象にしたあそびの会、たくさんのおもちゃで子どもたちに自由に遊んでもらう場での活動補助	

事業名	多世代交流サロン CoCo カフェ (1 月)	
日程	2022/1/11 (火)	
のべ人数	3	
概要	子育て世代とおじいちゃん、おばあちゃんなど3世代が交流する場での活動補助	

事業名	江別市中学校総合学習	
日程	2022/1/20（木）	
のべ人数	2	
概要	江別市内の中学1年生の総合学習である、郷土学習の一環とした「江別まち検定特別講座」の授業補助	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート（1月）	
日程	2022/1/29（土）	
のべ人数	4	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	江別駅前をアイスクャンドルで照らそう！～エキテラプロジェクト～	
日程	2022/2/4（金）～2022/2/11（金）	
のべ人数	28	
概要	江別駅前でアイスクャンドルを製作・設営し、江別駅前を明るくする	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート（2月）	
日程	2022/2/26（土）	
のべ人数	3	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	ブックストリート in EBRI	
日程	2022/3/4（金）～2022/3/6（日）	
のべ人数	10	
概要	商業施設 EBRI でのブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート（3月）	
日程	2022/3/26（土）	
のべ人数	8	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売補助など	

芦別市

事業名	芦別市内企業見学会（3月2日）	
日程	2022/3/2（水）	
のべ人数	3	
概要	芦別市内の企業を実際に見学する 1DAY ツアー	

事業名	芦別市内企業見学会（3月3日）	
日程	2022/3/3（木）	
のべ人数	1	
概要	芦別市内の企業を実際に見学する 1DAY ツアー	

南幌町

事業名	冬季休業講習ボランティア	
日程	2021/12/23（木）、2021/12/24（金）	
のべ人数	5	
概要	冬休みに行う講習学習における相談 時に学習サポート	

由仁町

事業名	中学校「冬休み学習会」	
日程	2021/12/23（木）	
のべ人数	4	
概要	希望者を対象とした中学校「冬休み学習」に、教職員の指導補助として参加	

4. 今年度の成果と来年度への課題と対策

(1) 大学生

成果	課題と対策
活動評価書結果 学生の活動評価書の結果では「今後も参加したいか」の回答に、85%の回答者が参加したいと回答した。 一度参加した学生のリピート多くあり、充実した活動成果となっている。昨年度同様、参加者の参加意欲がとても高く、活動自粛によりプログラムを待ち望んでいた声も多く見られた。	学生への周知 今年度も、大学へ従来のように周知する機会を失い、登録する学生が大きく減少することとなった。ホームページのリニューアルにより、インターネット検索でジモ x ガクを知る学生もいたことから、ホームページの SEO 対策に加え、来年度に向けた学生への確保に向けて、専門の業者に PR 動画を製作依頼し、大学構内での PR 動画配信も行っていく。対面授業が増えてきたことから、これまで行ってきた、オリエンテーションや授業での PR を増やしていき、登録学生を拡大していく。 学生からの口コミを増やしていくため、参加学生にも PR をお願いしていく。

(2) 受入地域

成果	課題と対策
地域・企業を知るツアーの実施 地域を知ってもらい、企業見学などにつなげていくために、地域おこし協力隊と一緒に市内を取材するプログラムを作成、コロナ禍に対応した、移住体験型プログラムとして単日で行える仕組みを作った。一昨年度から始めている企業登録も各地域の協力もあり 21 社に拡大、江別市で 2 社、芦別市では 2 日間にわたって、2 社ずつ、少人数で企業を訪問するプログラムを行った。 宿泊や企業での長時間の滞在が難しい中、登録地域を知り、定住に繋げる仕組みを模索した。	プログラムの充実 今年度、活動プログラムを実施できた市町村は、江別市、芦別市、南幌町、由仁町のみであったが、単日移住体験型プログラム、登録企業をめぐるツアーなどにより、企画が容易に、定住実績に繋がりやすいプログラム作成を進めて、全ての地域で行っていく。 より多くのプログラムを充実させるため、各自治体とより密な連携を図り、少人数、小規模のプログラムで中身の濃いプログラム作成に努めていく。 企業登録は 11 社以上の企業登録を行う予定となっている。

(3) 運営

成果	課題と対策
企業登録と移住体験型プログラム 新たに 11 社の企業登録を行い、8 市町で 21 社の登録数となった。その中から、江別市、芦別市で企業をまわるツアーを行った。 移住体験型プログラムとして、江別市では移住体験型プログラムとして、地域おこし協力隊に協力を仰ぎ、江別地区に住んでいる方を取材し、その地域を知り、SNSにアップするための写真を撮影していく取材体験を行った。来年度のプログラムのモデルとして活用していける内容となった。	定着を目指したプログラムの作成 今年度行った、企業訪問ツアー、移住体験型プログラムを各地域で行っていくために、早い段階から企画を作っていき、学生の休み期間中（夏休みがベスト）に行えるような段取りを組んでいく必要がある。 登録した企業の一覧を冊子型にし、各大学の就職課に配架し、学生に見てもらえるようにしていく。

